

お子様が見違える「短い声かけフレーズ10」～賢い親が繰り返し言う魔法の言葉～

○ 繰り返し言った方がいい言葉

- 1: 大好きだよ
- 2: ありがとう
- 3: へえ～? そうなんだ? (その話、もっと聞きたいな)
- 4: やったね!
- 5: すごいね!
- 6: 頑張ったな! または 頑張ってるな!
- 7: ドンマイ! (次、行こう!)
- 8: オマエならやれる!
- 9: (結果は気にせず) 楽しめ!
- 10: ナイストライ! (いい経験になったね!)



まずは「楽しい!」という気持ちを持たせ、そして「自信」を持たせることが大切です。そしてこの繰り返しこそがお子様が見違える「言葉の魔力」であり、「生きる力」を育てます。子育ては一筋縄ではいかない難しいものです。でも、自己肯定感が高いお子様の家庭を見ると、必ずしもお子様にずっと張り付いているわけではないのに、「自信」を持たせる瞬間を見逃していないことに気がきます。

○ お子様のやる気を見るみる吸い取る言葉

- 1: 「勉強しなさい」といった強要
- 2: 「お兄ちゃん(お姉ちゃん)はできたのに、ホントにアンタはグズね」といった誰かとの比較
- 3: 「お前なんかにはどうせできっこない」といった否定

叱るにしても褒めるにしても、その瞬間に、お子様自身の人格ではなく、起こった出来事を短い言葉で表現することが重要です。この「短い言葉」こそが、功を奏すのだと思います。

○ふくしまを十七で奏でよう絆ふれあい支援事業県中域内作品集

1 絆部門 奨励賞

作者児童名	作品	作者保護者名	作品
すずき こうが さん	ドキドキが とまらないよ はつしあい	鈴木ひろ子 さん	レフトには 転がらないで と 思う母
鈴木 康祐 さん	夜の絵本 弟横で 聞いている	鈴木 悦子 さん	いつからか 聞いている人 から 読む人へ

2 復興部門 奨励賞

作者児童名	作品	作者保護者名	作品
木村もえ さん	取りもどせ もとの町と えがおをね	木村二三子 さん	子の背たけ 月日を感じる 復興も

○体験活動の紹介

○福島民報新聞社出前授業 (4年～6年生)

福島民報社の方より新聞の重要性や新聞づくりについて教えていただきました。また新聞の記事を切り抜いて、自分のコメント書く作業を通して新聞づくりを体験しました。今日から新聞を読みましょう(^)!



○思春期保健事業 (3年生)

星総合病院の助産師さんから、生命の誕生について教えていただきました。赤ちゃん心臓と自分の心臓の鼓動を比較したり、赤ちゃんがお母さんのお腹の中で懸命に生きていることも学びました。



